

平成 24 年 11 月 2 日

各 位

船 井 電 機 株 式 会 社  
 代 表 者 名 取締役 執行役員社長  
 林 朝 則  
 (コード番号 6839 東証・大証第一部)  
 問 合 せ 先 I R・広報室 藤井 透  
 ( T E L. 0 7 2 - 8 7 0 - 4 3 9 5 )

## 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年 5 月 7 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

### 1. 第 2 四半期連結累計期間業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
平成 24 年 5 月 7 日発表予想 (A)	102,000	1,100	1,200	200	5.86
今 回 修 正 予 想 (B)	89,000	△ 1,450	△ 3,070	△ 2,990	△ 87.63

増 減 額 (B-A)	△ 13,000	△ 2,550	△ 4,270	△ 3,190	
増 減 率 ( % )	△ 12.7	—	—	—	
(ご参考) 前期実績(平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	140,641	2,120	519	△ 2,997	△ 87.86

### 2. 通期連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期 純利益
平成 24 年 5 月 7 日発表予想 (A)	229,000	4,000	4,000	2,500	73.27
今 回 修 正 予 想 (B)	205,000	△ 2,500	△ 4,100	△ 5,800	△ 169.99

増 減 額 (B-A)	△ 24,000	△ 6,500	△ 8,100	△ 8,300	
増 減 率 ( % )	△ 10.5	—	—	—	
(ご参考) 前期実績(平成 24 年 3 月期)	246,147	461	174	△ 4,629	△ 135.69

### 3. 第2四半期連結累計期間業績予想修正の理由

当社の主要市場である米国経済は、住宅市場及び雇用情勢が改善し、個人消費も比較的良好に推移するなど景気回復の兆しがみられたものの、欧州では債務危機懸念が依然として払拭できず、その影響を受けた中国や新興国でも景気の減速懸念が顕在化しました。また、我が国におきましては、東日本大震災の復興需要から緩やかな景気回復は見られましたが、前述の世界経済減速や中国との関係悪化などを背景に下振れリスク拡大が懸念される状況となりました。

このような状況における当社業績は、映像機器では国内の市場低迷が長期化している液晶テレビ、ブルーレイディスクレコーダーの不振により、売上高、営業利益ともに予想を下回る見込みとなりました。

これに加えて、予想以上の円高の長期化により為替差損が1,730百万円発生し、経常利益、四半期純利益を押し下げる要因となりました。

### 4. 通期連結業績予想の修正の理由

売上高につきましては、第3四半期以降、液晶テレビは堅調に推移すると考えておりますが、DVD関連製品は引き続きブルーレイディスクレコーダーが当初予想を大きく落ち込む見込みであります。

利益面につきましては、液晶テレビの採算悪化とDVD関連製品の減収による減益に加えて、円高の影響が残ることや、固定資産の減損損失の発生懸念等から営業利益、経常利益、当期純利益ともに予想を下回る見込みであります。

注) 業績予想は、現時点で入手した情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおります。主要市場である米国をはじめ、海外の経済情勢の変化や、製品価格及び為替の急激な変動などにより実際の業績は見通しと異なることがあります。

以 上